

たかす議会だより

孔雀草

(町花「マリーゴールド」の和名) 題字 宮島歩美

No. **170**

平成30年3月定例会号

発行:北海道鷹栖町議会
編集:広報広聴常任委員会

2018年5月7日 発行



豊作に願いを込めて! Season I ♪ 春のビニールハウスの除雪の様子

農業者の育成に決意

町政・教育行政執行方針に対する質疑

2

全会一致で予算案可決

予算審査特別委員会での質疑ほか

7

5名が一般質問

中村議員・青野議員・大石議員・片山議員・日下議員

13

定例会議案の詳細

第1回・第2回 臨時会議案

18

議会のうごき・モニターの声

第2回定例会のご案内

21

第1回定例会

3月9日～19日

第1回定例会は、3月9日から11日間（休会日を含む）の会期をもって開催し、平成30年度の町政執行方針及び教育行政執行方針の報告を受けた後、5名の議員が一般質問（13～17ページ）を行い、町長の考えをいただきました。

議事は、補正予算、条例の制定・改正・廃止及び平成30年度の7会計予算を審議し、全会一致で原案のとおり可決しました（18～19ページ）。

また、1件の人事案件について同意し、3月19日に閉会しました。

町政の執行方針と教育行政執行方針は、広報たかす4月号と同時配布の別冊「私たちのまちづくり」に掲載されていますので、合わせてご参照ください。

開設

Q. 青野議員
職員は今までも十分に地域に出ていると思うが、今まで以上に地域に出向くというのとはどのようなことを想定しているのか。

A. 8総策定に向けた地域でのミーティングを数回開催することを考えてい

8総に向けて

【8総とは】
第8次鷹栖町総合振興計画のこと。平成32年度から平成41年度までを計画期間として、まちづくりの大きな指針となるものです。

ます。意見聴取だけでなく、事業の情報提供も行う考えです。

Q. 青野議員

さまざまな分野の問題についての情報発信のあり方についての考えは。

A. 出前講座を行っていますが、目が届かないところもあります。アドバイスをいただけるとありがたいです。

30年度の重点事業

Q. 斉藤議員

30年度、これだけはどうしてもという町長の強い思いのある重点事業は。

A. 次の時代を担う農業者の育成です。30年度、農業交流センターを開設します。絶対失敗できないという気持ちを持って向かっていきたいと考えています。

鷹栖地区市街地の活性化

Q. 大石議員

J Aたいせつ跡地の活用についての考えは。

子どもたちが健やかで

心豊かに育つ環境づくり

未来への挑戦と力強い農業づくり

地域資源を活用した魅力づくりと

産業経済の活性化

誰もが安全・安心に生活できる

まちづくり

人々がふれあう協働の地域社会づくり

平成30年度
まちづくりの方針
～5つの基本施策～

A. たいせつ農業協同組合の考え方が基本になりますが、庁内でも検討しています。8総の中で考え方を決めていかなければならないと考えています。

Q. 辻本議員

北成、中央、北斗の住民にとつては鷹栖地区に買い物などを担ってもらわなければ過疎化が進んでいく。市街地活性化についての長期的な考えは。

A. 交通手段も含め8総に向けて考えていきます。

まるごとにつぼん

Q. 青野議員

まるごとにつぼんでの取り組みについて、新たな段階にステップアップとは、どのようなことを想定しているのか。

A. 平成27年12月からのまるごとにつぼんへの出店では、首都圏の消費者の購買動向や趣向を勉強し、新たな商品開発も進めてきました。30年3月で一度終了し、新年度は新たな商品を商談会に持っていく、卸売り先などに販売していく考えです。

農業交流センターの

パレットヒルズ

Q. 片山議員

パレットヒルズは町民のための公園と観光資源としての公園ではあり方が変わってくるのでは。どのような検討をしていくのか。

A. 町民、町外者、どちらにも満足していただけるようなパレットヒルズを作っていきたいと考えています。

就労支援

Q. 青野議員

障がい福祉の就労定着に向けた支援や機会の確保について、雇用する側への支援を行い、社会参加の機会を確保することも重要では。

A. 働く場所は選択肢が多い方がよいと考えますので、それも含めて検討していきたいと思えます。

鷹栖産米の販売促進

Q. 舟根議員

鷹栖町産ななつぼしの町外、道外への販売促進はどのような方法を考えているのか。

A. ふるさと納税の返礼品としてお渡ししているのが中心となっています。まずは販売促進をして、販売先を確保してから生産する形をとりたいと考えています。

農地の維持

Q. 舟根議員

条件不利地では農地の維持が困難になってきている。何かよい考えは。

A. 町だけでは農地の維持はできません。農業経営者の意識を基本に、農業ビジョンで次の第3期に向けて検討していきます。

Q. 辻本議員

農地を利用しやすくするため、基盤整備を強力に進めて欲しいが考えは。

A. 国営・道営の基盤整備事業に取り組んでいきます。今後、地域でまれば町としても全面的に協力する考えです。

消防団の体制

Q. 田下議員

消防団の今後についての構想は。

A. 以前、消防団幹部や後援会の方と協議しました。

協議の中では、自分たち

で消防車を操作できる間は現在の5分団体制を維持していくという方向性が出ています。今後継続して協議していく考えです。

空き家対策

Q. 青野議員

農村部で空き家とともに隣接する畑の販売は、すでに実現できるような体制が取れているのか。

A. 農水省から既存の法律の中でできるとの回答があり、農業委員会と相談して一定のルール作りをしました。申込を受けて農業委員会が審議し、許可が出てから売買する形になります。春に新たな取り組みとして大々的にPRしていきます。



コミュニティスクールの導入



コミュニティスクール

Q. 青野議員

コミュニティスクール導入の準備とは具体的にどのようなことを考えているのか。

A. 国では平成32年をめどに全小中学校に導入する方針で、町では30年度に運営協議会準備委員会を設置、31年度から取り組む考えです。学校運営の基本方針を広く地域に知ってもらう、地域の力を活かすことのできる場面を増やしていきたいと考えています。

Q. 日下議員

コミュニティスクールは各学校に設置するのか。専門的な知見が必要であり、3校それぞれに設置すると十分な人数を集めるのが難しいのではないか。

A. 各学校に1つずつ設置します。校長、教職員、PTA、同窓会、老人会、地域の農業者など約10名程度で運営協議会を設置していく考えです。

スクールカウンセラー

Q. 植西議員

不登校対策として道教委に配置を要望するスクールカウンセラーは数が少ない。町単独で配置する考えは。

A. 不登校にもいろいろなケースがあります。旭川教育大の先生に2週間に1回来ていただいており、今後も継続して指導していただく考えです。

Q. 植西議員

来ていただく回数を増やすなどの考えは。

A. 道教委の予算での事業なので難しいと考えています。

Q. 日下議員

スクールカウンセラーの利用が少ない印象がある。活用の仕方について、学校の理解が薄いのではないかと。

A. 利用は少ない方がよいと考えています。子供たちの悩みの解決に向けて、一層の充実を図っていきたいと思います。

学校司書の配置

Q. 中村議員

両小学校への学校司書配置の詳細は。

A. 各小学校に1名ずつ、週3日、1日4時間の予定で配置します。

学力の状況は

Q. 大石議員

鷹栖地区と北野地区の学力のレベル差についての考えは。

A. 差のある年度もありますが、中学で解消しているケースもあります。29年度は差がありません。

Q. 斉藤議員

勉強についていけず不登校になることも多い。そのような子をどう底上げするか、考えていることは。

A. 放課後学習や支援員による対応など、習熟度別に理解が進むよう努力しています。

「生き抜く力」を確実に

道徳教育

Q. 斉藤議員

30年度から道徳が教科になるが、執行方針の中に「道徳」という言葉が出てこない。道徳教育についてのどのように考えているのか。

A. みんなで意見を出し合いながら進めていければと考えています。心の教育に点数をつけることに対しては疑問も感じますが、鷹栖の子供たちは十分に立ち向かっていけると考えます。



小学校で使用する道徳の教科書

学校教育指導主事

Q. 青野議員

学校教育指導主事により授業の改善を行った実態は。

A. 各学校を回って授業を見ていただき助言をしてもらっています。校長会、教頭会や学校向上プロジェクト会議の勉強会に参加いただいています。学力向上や生活習慣等の資料作成などもしてもらっています。

不登校生へのケアは

Q. 青野議員

旭川市の不登校生の適応指導教室「ゆつくらす」との関わりは。学校に通うようになってからのケアはどうなっているのか。

A. 現在は3、4名が通っており、連携を密にとっています。「ゆつくらす」と学校とは常に打ち合わせしており、その結果の報告を受けています。

スマホの利用

Q. 舟根議員

スマホ問題について、所持の状況など現状把握をする考えは。保護者への周知も含めた対策は。

A. スマホの調査はしています。各学年や朝会の際などに注意をしたり、講演会を開催したりしています。保護者にはパンフレットを配布しています。

視力低下防止

Q. 舟根議員

児童生徒の健康管理の環境として視力低下防止対策についての考えは。

A. 小中学校での調査は行っていませんので、検討します。

鷹栖高校の存続

Q. 中家議員

鷹栖高校の存続について、現状ではどのような課題があるのか。

A. 倍率は昨年に続いて1・6倍と近隣でも高く、



鷹栖高校

高校生への支援

Q. 舟根議員

鷹栖高校の生徒には支援しているが、鷹栖町に住む高校生への支援についての考えは。

A. 鷹栖高校の生徒への支援は、高校存続のために進めています。財政的なこともあるので、町外に通う高校生に対しての支援は、今のところ考えていません。

ウォーキングと食育で健康づくり

公民館図書室の整備

Q. 中村議員

中央・北斗・北成の公民館図書室を整備する考えは。A. それぞれの図書コーナーに鷹栖地区住民センターの本を随時入れ替えれています。今後も継続していきます。

ウォーキングマップ

Q. 青野議員

新しく実施するウォーキングマップの作成とウォーキングチャレンジについて具体的な内容は。町民に参加してもらうための取り組みとして考えていることは。A. 桜つつみ公園堤防のコースを周知し、どこかの公民館をモデルにして継続的な歩行運動を推奨していきます。地域に出て自ら一緒に声かけ合って進めていきたいと考えています。

Q. 植西議員

ウォーキングをきっちり行うと結構な運動量になる。そうなるよう講師を呼ぶ考えは。A. 良い講師の方がいれば、お手伝い願って進めていきたいと考えています。

メロディーホール

Q. 舟根議員

メロディーホールの改修が昨年度に続き予定されている。総合体育館も同じ時期に建設されているが、これらの今後の改修の予定は。A. 8総策定の中で年次のな計画を立てていく考えです。



メロディーホール

食育の推進を

Q. 中家議員

健康づくりには運動だけでなく食育も重要。教育委員会として食育にもっと力を入れる考えは。A. 子供たちについては、学校給食を通じ、いろいろな形で食育を行っています。全町的には、イベントの際に町の野菜を使ったシフォンケーキを管理栄養士に作ってもらい配布することも行っています。

郷土資料館の修繕は

Q. 大石議員

郷土資料館は毎年修繕を行っている。建替えを含め今後の考えは。耐震化はしているのか。A. 築40年を超えますが、新しい建物は今のところ無理だと考えます。延命を図りながら、多くの方に立ち寄ってもらえるよう内容を充実させていきます。耐震化はしていません。

Q. 大石議員

耐震化だけでも行う考えは。A. 最小限の改修を行ってきました。今後については8総の中で検討していきたいと考えています。



郷土資料館

新年度予算編成

定例会4日目の3月12日、新年度予算についての提案説明を受けました。

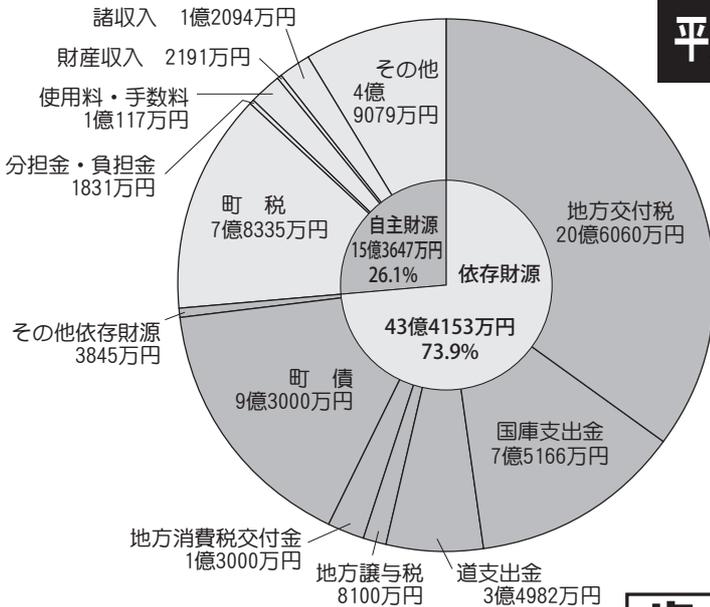
審査は、議員全員による予算審査特別委員会を設置し、13日に予算計上されている事業などについての質疑を行い、19日に原案のとおり可決しました。

平成30年度 各会計予算額

会計名	平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	増 減	対前年 伸長率
一 一般会計	58億7800万円	55億3700万円	3億4100万円	6.2%
特別会計				
国民健康保険	8億1142万円	9億8535万円	△1億7393万円	△ 17.7%
後期高齢者医療	1億604万円	8413万円	2191万円	26.0%
介護保険	8億3470万円	7億7708万円	5763万円	7.4%
公共下水道	1億9331万円	1億9866万円	△535万円	△ 2.7%
公平委員会	120万円	62万円	58万円	93.5%
計	19億4666万円	20億4583万円	△9917万円	△ 4.8%
企業会計				
水道事業	2億7826万円	2億9935万円	△2109万円	△ 7.0%
合 計	81億292万円	78億8218万円	2億2074万円	2.8%

平成30年度一般会計歳入歳出構成状況

歳入



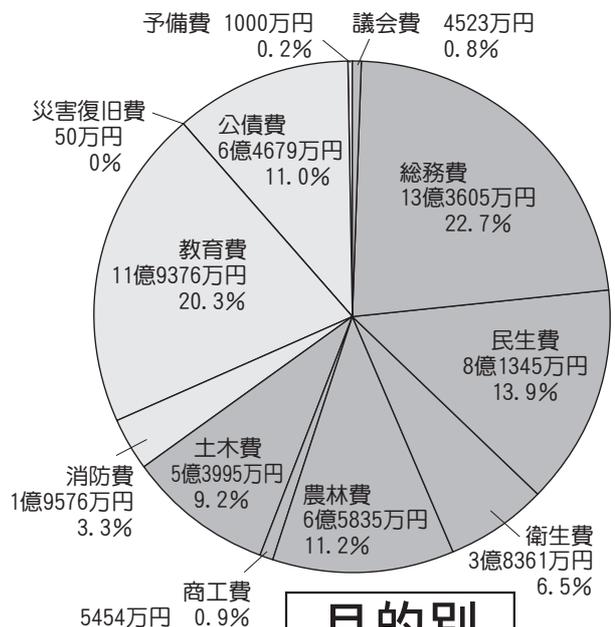
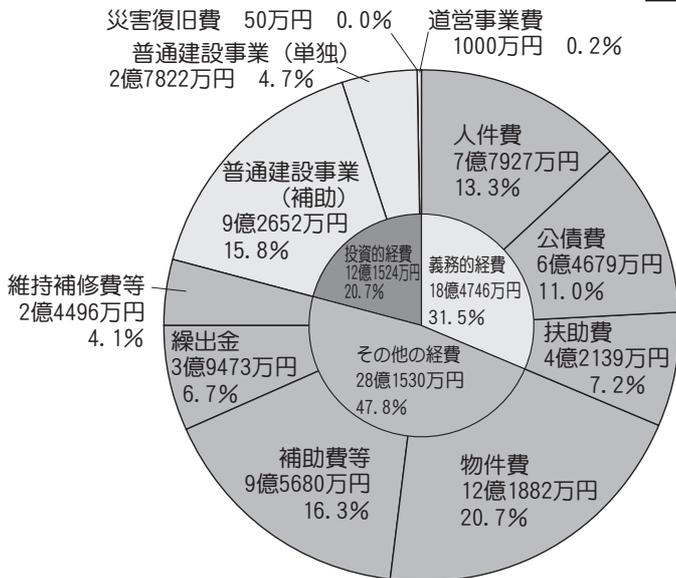
自主財源…

町が自主的に収入とすることができるお金
左のグラフ中「その他」は、寄附金、繰入金、繰越金の合計です。

依存財源…

国・道から交付、補助されるお金や借金(町債)
左のグラフ中「その他依存財源」は、利子割交付金、配当割交付金、ゴルフ場利用税交付金など少額の交付金の合計です。

歳出



性質別

目的別

最終処分場、今後の計画は

大石委員

Q 一般廃棄物最終処分場の軽微の変更の内容は。

A 第3期最終処分場を中心に向かって傾斜をつけることで1割の1500㎡、容積が増えます。10年ほど延命できる予定です。

片山委員

Q ごみの分別方法変更による効果と、今後の課題は。

A 今までは年間400㎡の埋立量だったが、平成29年度（6月から分別方法変更）は87㎡の見込みです。月平均5t以下で推移しており、年間50tくらいと考えています。分別の分かりづらさが課題であり、分別ガイドを作成するなど、周知に努めます。



最終処分場

青野委員

Q 最終処分場が満杯になったあとのごみ処理について、どんな考え方で計画を立てているのか。

A 上川中央部のごみ処理広域化基本計画を策定しており、この中で焼却施設、最終処分場の両方もどこかをお願いする考えです。平成38年以降になればある程度、形が見えてくると思います。

Q 町単独では焼却施設や最終処分場を作らないと決定したということか。

A 費用対効果を考え、広域でお願いする方向で進めています。

平成30年度 予算審査特別委員会 質疑

予算審査特別委員会では植西副議長が委員長となり30年度予算について審査を行いました。主な質疑の内容をご紹介します。

メロディーホール改修の今後

中家委員

Q メロディーホールの改修に約1442万円が計上されている。これからも毎年これぐらいの改修費がかかるのか。

A 3年かけて袖幕更新する2年目となり、また昨年に続きピアノの弦交換を予定しています。現在は備品等の整備を進めていますが、ホール自体の大規模改修が控えています。8総の中でも検討していきます。

Q 大規模改修となるとどれぐらいの費用がかかるのか。

A 以前、建物本体と空調設備、付属するものについて積算したところ、3億を超える事業費となりました。



ステージの幕が変わります

農家パートナー対策の充実を

舟根委員

Q 平成 29 年度には任意団体や推進会議でも婚活事業を行っている。農業委員会として連携したり、予算をもっと増やしたりして、パートナー対策に力を入れる考えは。

A 農業委員会のパートナー対策事業は旭川市、愛別町と一緒に行っており、30 年度は鷹栖町が当番町となっています。今後のあり方、町内の他団体との連携について 1 年かけて検討したいと考えます。

女性農業サークル応援の考えは

舟根委員

Q 女性農業サークルの新規加工品を作るなどの活動をさらに応援する考えは。

A 女性農業サークルの皆さんから話を聞く場を設け、活動を広げやすいような支援をしていきたいと考えています。

たいせつ農協でも芽だし施設を

舟根委員

Q あさひかわ農協で水稻芽だし施設の整備を行うことになっているが、たいせつ農協の方でも希望があればいずれ可能となるのか。

A たいせつ農協の組合員の利用については、計画時に一度農協同士で話をしています。利用料はかかりますが、施設完成後、改めて話をすると聞いています。

農地再編、工期延長への対応は

青野委員

Q 国営農地再編整備事業は、今のままでいけば計画通り終わるのか。

A 当初平成 32 年度に完了予定でしたが、現状では 2 年程度伸びる見込みです。

Q 工期が延びることになれば、地権者の負担が増え、営農計画にも影響が出てくる。相談体制などはどのようになっているか。

A 消費税増税による増加はありますが、工期が延びることで事業費が大幅に増える見込みはないと国からは聞いています。

期成会と相談しながら工事エリアの選定を行い、時期についても農家の意向を参考にして進めてきています。今後も相談しながら進めていきたいと考えています。



北野地区の農地再編整備事業

オオカミの桃の原料確保は

大石委員

Q オオカミの桃原料トマト作付奨励事業補助金の予算が 29 年度より減っている。原料確保についての考えは。

A 予算については全体的なバランスもあるのでご理解ください。

Q 原料トマトの買入れ価格をアップする考えは。

A 農業振興公社で収支と併せた中で設定しており、行政で価格の検討はできません。

街路灯・防犯灯の更新は

青野委員

Q 街路灯の整備状況は。子供たちの防犯の関係もあるので、優先順位を考えながら進めるべきでは。

A 防犯灯323灯 LED化済290灯(90%)
街路灯868灯 LED化済99灯(11%)
街路灯は30年度のうちに17%程度になる予定。今後8年くらいですべてLED化できると考えています。

ゴルフ場を大きく宣伝しては

青野委員

Q マラソンゴルフを20年以上前に開催したときにはゴルフ雑誌などで全国的にPRしたが、今回のPRの範囲は。3か所のゴルフ場をまわれるところは全国的にも少ないので大きく宣伝すべきでは。

A 開催を7月5日に決め、ゴルフ場の会員に案内を出しています。ゴルフ人口増加のため、全国とまではいかななくても広く募集をしていきたいと考えています。

スポーツ事業を結びつけては

片山委員

Q ジョギングフェスティバル、クロスカントリー大会、ラジオ体操、チャレンジデーなどスポーツ関係の事業を、国保との関係も含め、健康づくりポイントのような形で結びつける考えは。

A 30年度に予定している地域おこし協力隊を活用し、国保との関係も視野に入れながら、事業展開を検討していきたいと考えています。

農地集積推進事業の見直しは

舟根委員

Q 農地集積推進事業は大変利用が多い事業と認識しているが、平成24年から実施され6年経つ。今後もこのまま継続するのか。見直しの考えは。

A 担い手農家への農地集積の効果はあると考えています。農地の町外流出は落ち着いていますが、農地集積の観点から予算規模はともかく何年かは続けていく必要があると考えます。関係機関や団体とも相談しながら検討していきたいと考えています。

Q 検討に当たり、どんな団体と相談していく考えか。

A 農業委員や農用地利用調整協議会の役員の皆さんにも相談したいと考えています。

町営バス、観光への活用は

片山委員

Q 町営バスの予約方法の一部見直しがされ、予約は1時間前でもよくなると聞いている。30年度にプラザ・クロス10に観光情報コーナーを設置するが、町営バスを観光に活用する考えは。

A 町営バスの利用効率が上がることは大変好ましいことなので、観光と連携した周知を検討していきたいと考えます。



町営バス

部活動の充実を

木下委員

Q 部活動の指導員制度の導入について、この事業は今後も継続する考えなのか。指導員は教育委員会と校長のどちらが任命するのか。

A 今後も継続していきたいと考えています。任命は教育委員会が行います。

Q 資格にも様々なものがあるが、競技団体の指導者としての適正はどの程度まで考えることになるのか。

A 最終的には、学校で部活動を指導していただく上で適した人物かどうかということ、学校と教育委員会で総合的に判断して決めたいと考えています。

Q 今後、町内のスポーツ少年団活動と中学校の部活動がリンクするような指導員の配置をしていく考えは。

A スポーツ少年団にある競技のすべての部活を作ることは予算的に難しい部分もありますが、子供たちに希望も聞きながら検討していきたいと考えます。

鷹栖高校、入学準備金の効果は

片山委員

Q 鷹栖高校の入学準備金の効果は。入学者の家庭や中学校などに対して聞き取りを行っているのか。

A 倍率の高さに少なからず影響していると考えています。意見聴取は行っていません。

Q 入学準備金という形がベストなのか、今後、聞き取りを行う考えは。町内の入学者を増やすための方策は。

A 今後、考えていきたいと思います。30年度から推薦入試制度を導入したこともあり、町内の入学希望者に少なからず影響があったと考えます。



中学校の剣道部と女子バスケ部に部活動指導員が導入されます

橋からのPCBはまだ出るのか

大石委員

Q 橋梁からのPCBはまだ出てくるのか。

A 塗料に含まれていたという橋梁は出てきていません。

塗る道具に入っていたと思われるごく微量のPCBが出てきており、今後も塗り替えの際に出てくると予測しています。

クロカンの圧雪車の更新は

舟根委員

Q クロスカントリースキーの環境整備に使う圧雪車の更新についての考えは。

A 20年以上使っているので、財源調整など更新に向けての検討もしていきます。まだ部品等の供給があるので、対応できる部分是对应して使用していく考えです。

働くきっかけづくりの進め方は

舟根委員

Q 働くきっかけづくり応援事業は施設にいる方が対象なのか。家庭にいる方も対象にしているのか。対象者がどれくらいいて、何人くらいを就労に結び付けたいと考えているのか。

A 施設入所等をしていない、いわゆる引きこもり等の方にアプローチすることを考えています。正確な数字は把握していませんが、少なくないと考えます。社会福祉協議会に委託し、3名程度を中間的就労に結び付けたいと考えています。

Q 農福連携という言葉もある。今回の地域食堂での就労体験からいろいろな業種の体験への発展も考えているのか。

A まずはきっかけを作るということを考えています。本格的な就労につなげるため、適性や要望などを考えながら、その人に合う仕事を一緒に考えていければと考えています。

桜つつみ公園の花が咲くように

日下委員

Q パレットヒルズの桜補植の予算が計上されているが、桜つつみ公園の桜にもその手法を活かすことはできないか。

A 花は少ないですが、少しずつついてきています。河川沿いで環境が厳しいため、成長が遅いのだと認識しています。

青野委員

Q 初期に植えたところの状態がよくない。調査をする考えは。植樹祭の際に枯れたところを植え替えるなどの計画は。

A 利用者や近所の町内会の方にも話を聞きながら、今後の管理を含めて検討していきます。



桜つつみ公園で行われる24時間マラソン

水道管布設替えの考え方は

青野委員

Q 水道管布設替えの考え方は。

A 約40%程度の水道管が耐用年数を超えています。鋳鉄管については4分の1が耐用年数を超えています。

全町に影響のあるルートの一部に腐食が見られ、複条化が必要と認識しています。他は緊急性が低い部分になりますので、管の材料も調査しながらルートを選定していく考えです。

除排雪の勤務体制、負担軽減は

舟根委員

Q 除排雪に関わる方の人員確保や勤務体制について、健康面も含め、どのように対策していく考えか。

A ある程度路線を固定し除雪業務にあたっています。体調を崩したときには2人ペアの1人を他の係に交代するなどして対応しています。早いうちに休ませることが必要と認識しています。

一般質問

一般質問とは定例会において、各議員が住民を代表して、行財政全般にわたり町当局の考え方や、疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

人口減少問題への対応は

これまで以上に移住・定住対策を進める（町長）



移住定住促進のためのパンフレットと地域おこし協力隊の募集要項

人口の減少は大変深刻な問題であり、地域の衰退につながります。急速な少子高齢化と人口減少に歯止めをかけ、将来も安心して住み続けられるため、平成27年に「鷹栖町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。移住環境の整備の効果と課題は。

答弁 鷹栖町版CIRC構想の推進をコンセプトに移住・定住対策を進めていきます。首都圏での移住相談により、農業や福祉の就業体験につながることに成功しています。

地域課題の解決に資する移住・定住を進めます。

質問 4年間で156名が住宅建築・空き家改修支援事業を利用し移住された。しかし、29年度は、1月現在で過去3年間に比べ申請が3割少ない状況だ。条例改正で基準額が50万円から30万円に減額されたことによるのでは。

答弁 変更後まだ1年なので判断はできませんが、数年の状況を見て判断し、補助の対象を検討したいと考えます。

質問 29年3月の定例会で、町長は社会増減の差をゼロにしたいと発言していたが、今年度の実績は転入169名、転出225名で計56名の転出超過となっている。今後どのように検証

し、手当てをするのか。

答弁 社会増減ゼロは、創生総合戦略の目標として申し上げます。

農村部のコミュニティを守りつつ、空き家とともに隣接する農地を販売する計画も農業委員会の承諾を得ながら進めていきます。

質問 雇用促進は、移住・定住につながる。取り組みと状況は。

答弁 28年度は2事業者4名、29年度は1事業者3名で合計7名の雇用が生まれました。

企業立地推進条例に基づく支援策を実施し、町民の働き場所の確保に努めています。新たにTターン人材確保補助事業を実施するな

ど、定住人口の増加と人材の確保に取り組めます。

質問 地域おこし協力隊の活動と今後の計画は。

答弁 29年度は2名を採用、30年度はさらに2名の採用を予定し、今後も積極的に導入を検討します。

質問 協力隊の約6割は、任期終了後も引き続きその地域で様々な地域活動を継続していると聞く。地域への定住・定着に寄与する重要な取り組みを、人口増へつなげていく考えは。

答弁 外に向けての発信をこれまで以上に続け、人口拡大、維持に取り組んでいます。



中村 公憲 議員

農業全般を担う組織設立の考えは

組織の母体を慎重に検討していく（町長）



農業交流センター「あったかファーム」
30年度は4名が研修します

関が共通認識を持ち、協力・連携を図りながら、一体的に進める鷹栖町農業の拠点の必要性を示しています。

本町農業の全般を担う支援組織の設立については、検討する必要があると考えます。農業ビジョン検討会や農政関係幹事会等を中心に、それぞれの役割や農業支援組織の母体について慎重に検討していきます。

4つの目標を達成するための母体組織は必要と思いますが、どこが主体となるかなどは、得意とする役割も踏まえながら、第2期の農業ビジョンで今後検討していきます。

できれば、より効率良く効果的な運営ができるのではないかと。

答弁 農業者が独立独立で経営する事は非常に大事であり、農業・農村の活性化にも繋がると思いますので検討していきます。

また、検討組織は、それぞれの役割があるため、全体をまとめることは今のところは考えていません。重なる役割の方もいるので、どのような形が一番良いか検討しながら進めていきたいと思います。

農 業ビジョンの計画に沿った具体的な施策の実現を大いに期待している。本町農業の将来を担う4点の最重要事項「担い手の育成確保」「農地保全」「生産振興」「農産物の販売」を実践し、最終目標の「農業基地構想」を達成するため、総合的な取り組みや施設

の運営・管理などを行うことも考える必要がある。鷹栖町農業全般を担う農業支援組織の設立についての考えは。

答弁 「農業基地構想」は農業ビジョンの基本目標であり、JA、農業委員会、農業改良普及センター、土地改良区などの農業関係機

質問 中心的な組織を創り、行政のバックアップ体制や各団体との協力度体制を整備し、生産者と一体となつて農業全体を動かす体系を早急に整えるべきでは

答弁 農業交流センターは担い手の育成確保のため、町主体で農協や農業改良普及センター等との協力度体制を進めていきます。

質問 組織体制としては農業法人組織が一番良く、何より農業者が中心になり創るべきと考える。

本町の農業に関する検討組織として、農政幹事会、農業ビジョン検討会、農業振興対策協議会等々がある。それぞれの立場や役割があると思うが、基本的な説明や協議を一カ所で行う事が



青野 敏 議員

高齢者が安心して住み続けるために

見守り体制の整備・強化に努める（町長）



高齢者向け公営住宅

人口構造の変化により、地域では高齢者が高齢者を支援しなければならぬ。さらに、支え手不足も深刻になってきている。今年でこの家に住むのが最後かもしれないと思う高齢者は少なくないと思う。高齢者が安心して住み続けられることが、転出防止にも結びつく。

ひとり暮らしの高齢者、夫婦のどちらかが生活に支障をきたしている世帯の実態調査はできているのか。

答弁 平成26年度からお互い様づくり行動計画の見守り活動の体制整備・強化に基づき、65歳以上のひとり暮らし高齢者と、75歳以上の高齢者のみの世帯の約435戸を戸別訪問し、健康状態や緊急連絡先などの情報を聞き取っています。緊急時や、災害時の避難支援などを目的に、社会福祉協議会や町内会などと個人情報共有するための同意書をいただき、見守り対象者の実態把握に努めています。

質問 高齢者の生活困窮は、他人には相談しづらく手遅れになるとも言われています。

早期発見や見守り、相談支援につながる体制の構築が急務では。

答弁 福祉委員や老人会町内会等とモデル的に取り組み、安否確認の強化を図っています。

民生委員による訪問や老人会の友愛活動、買物支援事業におけるサポーター・協力店舗による見守り、町内民間事業者との見守り協定締結による緊急時の連絡体制強化など、困り事の相談、早期発見に努めています。

質問 地域での助け合いの希薄化が進んでいる中で、外部との関係を好まず、自宅から外出したくない高齢者が増えていると考える。生活支援だけでなく、社会参加を促すことが必要であり、一番身近な町内会の役割が大きいと思うが。

答弁 社会福祉協議会と連携し、あつたかす北野サロンや自宅型サロンでの居場所づくり、介護予防教室やフィットネス倶楽部「コレカラ」などの介護予防と一体となった生きがい活動など、外出機会の創出を図り、社会参加へとつなげる活動を展開しています。モデル町内会では、見守り活動や避難訓練を行うなど地域における住民同士の助け合い、支え合いが進んでいます。



大石 隆 議員

公共施設の維持管理計画の公表を

第8次総合振興計画策定の中で協議する（町長）



11月のプレオープンに向けて建設中の新鷹栖地区住民センター



片山 兵衛 議員

質問 計画には「適正化（縮減）を図る」とあるが適切な公共施設の量はどの程度と考えているか。

答弁 現時点では全て必要な施設と考えていますが、更新や大規模改修の際には、利用状況や管理コストなども勘案し検討します。負担軽減のため公共施設を無償譲渡した実績もあります。

質問 新たな施設を整備する考えは。

答弁 現時点での計画はありません。

質問 統廃合の基準は。

答弁 施設ごとに町民との合意形成を行い取り組む考えです。建物の歴史や経過があるので、数字で基準

を設定することは考えていません。

質問 長寿命化の計画は。雨漏りや壁剥がれの修繕のように事後保全を繰り返すのではなく、予防保全の観点に立つことで、施設を利用する住民の意識も変わってくるのでは。

答弁 橋梁、公営住宅などは計画を策定しています。建物については中長期的な内部での計画はありますが公表はしていません。

質問 今後のまちの姿を見える化することは安心感につながるのではないか。計画を公開する考えは。

答弁 必要なことかもしれませんが、第8次総合振興計画策定の中で協議して進めます。

質問 5地区の住民センターは「可能な限り維持」とある。ニーズがある限り維持する方針と考えてよいか。

答弁 その通りです。

質問 ランニングコストの圧縮についての考えは。

答弁 施設管理費の見直しや省エネタイプの設備機器への更新を検討します。また民間の資金やノウハウの活用など、さまざま手法を講じます。

町 の公共施設等総合管理計画にある「総合かつ計画的に管理する部署」とは。指定管理業務も一元化するのか。

答弁 総務企画課が情報を集約、関係課と連携して修繕計画を管理していきます。指定管理業務は今ま

質問 計画にある単純シミュレーションでは10年間で7億円の支出超過となっている。どのように対処するのか。

答弁 基金への計画的な積立、有利な起債や国・道の補助金を確保しながら、財政への負担を少なくする手法をとっていきます。

どおり各課で管理します。

教職員の勤務時間の縮減を

出退勤システムを導入して縮減に努める（教育長）



勤 務時間の把握は、労基法だけでなく、道教委の「時間外勤務等の縮減に向けた重点取組」において「管理職員や職員の業務従事時間等の把握に努める」と示されている。小中学校教員の勤務実態は。

答弁 一部教職員は、平日3・5時間ほどの時間外勤務がみられます。小学校

スクールバンド指導や中学校部活動指導は週末に1日5時間程度の時間外勤務が発生しています。

質問 近隣市町村では目視による調査報告が多い。本町では、どのような方法で調査しているのか。

答弁 目視で調査しています。

質問 中央審議会の緊急提言では、服務監督権者である教育委員会に対して、教員の勤務時間の報告を、自己申告方式や目視報告ではなく、客観的集計システムを構築して行うことを求めている。本町の対応は。

答弁 平成30年度に、勤務時間の客観的集計システムの導入を検討しています。

質問 時間外勤務等縮減の実施状況と成果は。

答弁 校務支援システムを導入や学習支援員による担任業務の分担、校務分掌の偏らない組織編成等を実施しています。

質問 これまで部活動は、顧問教師による献身的活躍で支えられてきた実態がある。道教委は具体策を盛り込んだアクションプランによる負担軽減を示している。本町での軽減策は。

答弁 平日は週1日、土日はどちらか1日、テストや各種行事前も部活動休日を設定しています。また、部活動の顧問教師は複数配置とし、交代で休める体制にしています。

質問 教育委員会や管理職は、勤務時間に対する教職員の意識改革を深めていく必要があるのではないかと対策を伺いたい。

答弁 文科省や道教委からの教職員の働き方の通知をふまえて、管理職には組織や勤務時間の管理に関して、教職員全体に対しては働き方に関する必要な研修を推進していきます。



日下 義朗 議員

報告

●和解に係る専決処分
の報告について

公営住宅の滞納家賃および遅延損害金の支払い請求申立てを行っていた件について和解した旨の報告を受けました。

専決処分：議会の委任により、軽易な事項を町が行うこと。

補正予算

平成29年度の予算が増額補正されました。主なものは次のとおりです。

【一般会計】

- 燃料価格上昇に伴う各施設
の燃料費の追加
- 公共施設修繕等基金への
積立金の追加

- 北野地区市街地内の町有
地売却処分に伴う測量調
査委託料の追加
- 住宅用の太陽光発電シス
テム設置補助金の追加
- 臨時福祉給付金の精算に
伴う返還金の追加
- 各種福祉サービス費用の
追加
- 町外保育園等に通園する
園児の増加に伴う広域保
育委託料の追加
- 農地のあっせん件数の増
加による補助金の追加
- 農業機械の導入に伴う国
からの補助金の追加
- 除排雪委託料の追加
- 消防団員の退団に伴う退
職報奨金等の追加
- 北野小学校の図書購入費
用の追加（本田技術研究
所からの寄附）
- メロディーホール入場料
等の確定に伴う基金への
積立金の追加
- 各事業の確定または執行
見込みによる減額

【国民健康保険（事業勘定）
特別会計】
執行見込みによる減額お
よび交付金精算に伴う償還
金額の増額

【後期高齢者医療特別会計】
広域連合への納付金額の
執行見込みによる増額

【介護保険特別会計】
介護サービス給付費の執
行見込みによる増減

【公共下水道事業特別会計】
および水道事業会計
事業の確定または執行見
込みによる減額

一般会計		補正額	補正前の額	補正後の額
		3997万9000円	58億3075万4000円	58億7073万3000円
一般 会 計	議会費	△43万円	執行見込みによる減額	
	総務費	1億1944万6000円	執行見込みによる減額、基金積立金等の増額ほか	
	民生費	311万1000円	執行見込みによる減額、各種福祉サービス給付費の増額ほか	
	衛生費	△346万1000円	執行見込みによる減額、特別会計への繰出金の増額ほか	
	農林費	△1118万6000円	執行見込みによる減額、農地売買に係る補助金の増額ほか	
	商工費	△135万6000円	執行見込みによる減額	
	土木費	△4753万7000円	執行見込みによる減額、除排雪委託料の増額	
	消防費	△159万4000円	執行見込みによる減額、消防団退団報奨金の増額ほか	
	教育費	△871万6000円	執行見込みによる減額、基金への積立金の増額ほか	
公債費	△829万8000円	起債償還金元金・利子の確定による増減		
特別 会 計	国民健康保険	0円	9億5448万1000円	9億5448万1000円
			執行見込みによる減額、交付金精算に伴う償還金の増額	
	後期高齢者医療	587万5000円	8413万円	9000万5000円
			広域連合への納付金額の執行見込みによる増額	
	介護保険	2929万4000円	7億8840万7000円	8億1770万1000円
		各種介護サービスの執行見込みによる減額、または増額		
公共下水道	△894万2000円	1億9575万7000円	1億8681万5000円	
		執行見込みによる減額		
水道事業会計	計	△1390万円	2億9844万8000円	2億8454万8000円
	収益的支出	△440万円	執行見込みによる減額、給水使用量減少による負担金の減額等	
	資本的支出	△950万円	執行見込みによる減額	



条例

23件の条例が提案され、すべて可決しました。

〔制定〕

■第8次鷹栖町総合振興計画策定委員会条例

平成32年から始まる第8次総合振興計画の策定作業に向け、委員会を設置します。

■鷹栖町町税等の滞納者に対する行政サービス制限措置に関する条例

■行政サービス制限の拡大に伴う関係条例の整備に関する条例

新たに公営住宅家賃、水道料金の私債権滞納者についても行政サービスの制限を実施します。

■鷹栖町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例

居宅介護支援事業所の指定権限が北海道から町に権限移譲することに伴い条例を制定します。

■鷹栖町農業交流センター設置及び管理に関する条例



〔改正〕

■鷹栖町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

中学校部活動指導員の任用に伴う報酬規定を追加します。

■鷹栖町国民健康保険（事業勘定）特別会計財政調整基金条例の一部を改正する条例

改正する条例

■鷹栖町国民健康保険条例の一部を改正する条例

■鷹栖町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■鷹栖町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

改正する条例

国保の財政運営が都道府県単位化されることに伴う改正です。

■鷹栖町介護保険条例の一部を改正する条例

第7期介護保険料の改定に伴う条例の改正です。

■鷹栖町企業立地推進条例の一部を改正する条例

鷹栖工業団地の早期販売等のため、助成制度を拡充します。

■鷹栖町墓地使用条例の全部を改正する条例

■鷹栖町議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例

改正する条例

■鷹栖町個人情報保護条例の一部を改正する条例

■鷹栖町学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例

■鷹栖町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

改正する条例

■鷹栖町都市公園条例の一部を改正する条例

■鷹栖町農業振興対策協議会条例の一部を改正する条例

■鷹栖町宮土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例

■鷹栖町北海道宮土地改良事業分担金の徴収に関する条例の一部を改正する条例

■鷹栖町北水産振興事業分

■鷹栖町北水産振興事業分

改正する条例

〔廃止〕

■鷹栖町水洗便所改造等資金貸付条例を廃止する条例

すでに貸付制度の適用期間が終了しているため条例を廃止します。

■鷹栖町水道、下水道使用料の助成に関する条例を廃止する条例

福祉灯油助成事業に切替えて実施するため、条例を廃止します。



人事

■上川町村等公平委員会委員の選任

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

長谷川 浩 氏（新任）
（中川郡美深町）

第1回臨時会

1月31日に開催された臨時会において、専決処分の報告、公の施設に係る指定管理者の指定および一般会計補正予算について審議し、可決しました。

- 民事調停の申立てに係る専決処分の報告について
- 和解に係る専決処分の報告について
- 和解及び損害賠償額の決定について
- 公の施設に係る指定管理者の指定について

平成30年4月1日から以下の施設が指定管理者によって管理されます。

【新規】

・鷹栖町総合体育館 ・鷹栖町B&G海洋センター ・鷹栖町総合スポーツ公園 ・北野運動公園

【継続】

・鷹栖、北野、中央、北斗、北成の各地区住民センター

- 平成29年度鷹栖町一般会計補正予算（第8号）について

下表のとおり平成29年度予算が補正されました。主な内容は以下のとおりです。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計	8047万3000円	57億5028万1000円	58億3075万4000円
総務費	3090万円	ふるさとまちづくり応援基金の積立金等の増額	
民生費	49万8000円	はびねす浴室のシャワー水洗の交換・修繕費の増額	
農林費	1622万5000円	農業機械の整備にかかる補助金の増額	
土木費	3270万円	除雪出動回数の増加による委託料の増額等	
教育費	15万円	小学校修繕費の増額	

第2回臨時会

3月30日に開催された臨時会において、債権放棄の報告、専決処分の報告、条例の改正、一般会計及び特別会計補正予算について審議し、可決しました。

- 債権放棄の報告について
- 工事請負契約の金額の変更に係る専決処分の報告について
- 平成29年度鷹栖町一般会計補正予算の専決処分の承認を求めることについて

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計	4万6000円	58億7073万3000円	58億7077万9000円
総務費	△1165万4000円	公共施設修繕基金積立金の減額等	
民生費	90万円	除雪サービス事業委託料の増額	
土木費	1080万円	除排雪対策事業費の増額	

- 鷹栖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について

- 平成29年度鷹栖町一般会計補正予算（第11号）について

- 平成29年度鷹栖町国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第4号）について

一般会計		補正額	補正前の額	補正後の額
		282万9000円	58億7077万9000円	58億7360万8000円
一般会計	内訳	総務費	0円	財源の組替え
		衛生費	282万9000円	国民健康保険（事業勘定）特別会計への繰出し金の増額
		農林費	0円	財源の組替え
特別会計	国民健康保険	24万8000円	9億5448万1000円	9億5472万9000円
			財源の組替え、償還金の追加	

モニターのみなさんからの意見

一般質問の記事に、写真以外に質問や答弁の根拠や関連するデータの掲載があると、経過や推移がより分かりやすいのでは。

紙面のスペースの関係もありますが、必要な関連データについては、掲載も行っています。167号の5ページではデータの掲載をしています。

直接自分に関わる話題があると見る気になると思うので、見てほしい年代を毎号決めてアプローチする一言を載せると、見るきっかけになるのでは。

年代を特定することは難しいと考えますが、多くの方に手にとってもらえるような工夫を重ねていきます。

一般質問の「質問」のところの四角枠はグレーより黒のほうが引き締まって見えてよいと思うが。

以前はそのようにしていましたが、議会報研修会で黒が強すぎて重たい印象になっていると指摘されたため、濃いグレーに変更しています。

表紙の写真がはたちのつどいだったので、わたしの一言に成人代表の一言を載せては。

次回「はたちのつどい」が開催されるときに検討します。

写真と説明文の位置が違うので、説明文を足しては。

写真はなるべく本文のそばに来るよう調整します。離れてしまった場合は、本文のページを記すなどの対応も必要ですね。

町民から写真募集などをして紹介するスペースや議員さんのコラムなどを書いてみては。

写真募集は面白いアイデアだと思います。どの部分で取り入れることができるか検討します。議員それぞれの活動を知りたいという声は議員全員で共有します。

小中学生のスマホの所持についての一般質問で、親子向けのスマホの危険事例などのコラムがあると良いのでは。

紙面のスペースに余裕があるときには、そのようなコーナーを設けることも検討します。

議員の皆さんの活動を知る機会がない。鷹栖町のために頑張っていることがあれば特集を組んでみるのはいかがでしょうか。

議会全体での活動は、なるべく掲載するようになっています。委員会の活動等をより充実させていきます。

議会のうごき

2018.2.1~2018.4.30

●全体

- ・上川中央部5町議会議員研修会（比布町） 2月8日
- ・議員協議会 2月15日・3月13日・4月24日
- ・第1回議会定例会 3月9日・12日・13日・19日
- ・第2回議会臨時会 3月30日
- ・第3回議会臨時会 4月24日

●総務文教常任委員会

- ・委員会 2月23日・26日、3月30日

●経済福祉常任委員会

- ・委員会 2月20日・21日、3月30日

●広報広聴常任委員会

- ・委員会 3月9日・29日
4月10日・16日

●議会運営委員会

- ・委員会 2月28日・3月13日

●議会活性化委員会

- ・役員会 3月12日
- ・総会 3月30日

平成30年第2回定例会は6月19日（火）～20日（水）の予定です。

※予定は変更となる場合があります。



す どう よし ふみ
須藤 芳文さん
(北野・北野東町内会)

「我が町でも観光の充実を」

2年前の旭川冬まつりでのことです。駅で観光ボランティアをしていると英国の男性や台湾の夫婦がやってきて「10線10号に行きたい」と言います。目的は犬ゾリ体験でそこまで行くと迎えが来るとのことでした。旭川市を中心に全道各地の観光案内をしています。鷹栖は初めてでした。昨年、会員研修の一環として大型バスでDMOに参加する町巡りをしました。会員はメロディーホールやパレットヒルズ、展望台の素晴らしさに感嘆の声を上げ、車中では伝承館、山恵さん等の料理を話題にして

いました。自慢できる観光資源があるのに訪れる人が少ない、その原因は鷹栖に来て移動手段がないことにあると思います。

そこで提案ですが美瑛等のようにレンタサイクルを使った観光を進めてはどうでしょうか。電動自転車だと町内の名所巡り、体験、食事等を組み合わせても半日もあれば出来ますし、レンタサイクルを使ったモデルコースの設定で観光資源を点から線に変えることができます。鷹栖のイメージアップを図るためにも町理事者、議会の皆様ご検討をお願い致します。

■ わたしの一言 ■

「魅力ある鷹栖町のために ～市街化調整区域の有効活用に向けた検討を!～」

鷹栖町に何の縁もない私でしたが、移住以来、保育園、小中学校、野球少年団など我が子の成長を通じて多くの親切な方と知り合えました。作業療法士として発達障がいを持つ子供たちと接してきた私は、いつか鷹栖町の支援を必要とする子供たちの役に立ちたいと思っていました。そして今春、子供たちのための発達支援事業所を開設することとしました。事業所は発達に心配のあるお子さんはもちろん、スポーツ少年団等の集まりなど町内すべての子供たちに提供したいと思っています。ところで、開設準備の経験から、町政、町議会にお願いしたいことがあります。当初、事業所に市街化調整区域の離農農家

物件を予定していました。市街化調整区域は開発許可が必要で、役場には好意的に対応いただいたものの、許可権限を持つ北海道からまさかの不認可!(ひどい!)。この経験で気づきました。鷹栖町には東神楽町や美瑛町のような旧農家・古民家を改装した魅力的なカフェ、蕎麦屋がほとんどない。なぜか?両町は開発許可権限が道から町に移譲されているのです。もし、鷹栖町に開発権限があったならもっと容易に魅力的な店や福祉事業所が増え、結果、鷹栖町の活性化に繋がるのではないかと。ぜひ、これらの可能性を役場、議会で検討してほしいのです。よりステキな鷹栖町になるために。



たか ぎ ひづる
高木 陽出さん
(鷹栖・ハーモニー町内会)

くじやくそう クイズ

次の問題に答えよう

○に当てはまる言葉を入れてください。

問 1. 平成30年度から開設した農業交流センターの通称は○○○○ファーム。

問 2. 平成30年度の一般会計の総額は○
○億7800万円。

問 3. 鷹栖中学校で指導員が導入される部活動は女子バスケット部と○○部。



ヒント この議会だより「孔雀草」の中に答えがあるので、探してみてください。

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。

《応募方法》

クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。孔雀草を読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えいただければ幸いです。全問正解者の中から抽選で3名の方に商品券1,000円分をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。) 前回は7名の方にご応募いただきました。ありがとうございました。

《あて先》

〒071-1292
鷹栖町南1条3丁目 議会事務局 宛
FAX 0166-87-2196
✉ gikai@town.takasu.lg.jp

《しめきり》

平成30年5月31日(木) 消印有効